



主催：応用物理学会 有機分子・バイオエレクトロニクス分科会
協賛：日本化学会、理化学研究所

M&BE 新分野開拓研究会 2014

「有機エレクトロニクスの長波長領域への進展」

有機太陽電池では、可視光だけでなく近赤外光も吸収し効率を向上させる研究が活発化しています。可視光よりも長波長の光を吸収できるようになると太陽電池だけでなく新たな進展も考えられます。例えば、体への透過のしやすさを利用した生体イメージングや視覚を刺激しないセンサなどが、無機エレクトロニクスを用いて開発されています。

本研究会では、可視光より長波長領域の光を受光できる材料・デバイスについて、無機エレクトロニクスも含めて長波長領域を利用した応用先について、各先生から紹介して頂きます。

日時： 2014年9月5日（金）13:00～17:20

場所： 理化学研究所 鈴木梅太郎ホール（〒351-0198 埼玉県和光市広沢 2-1）

（交通アクセス： <http://www.riken.jp/access/wako-map/>）

■ プログラム

13:00 ～ 13:40	近赤外吸収チエノイソインディゴ高分子の太陽電池特性 佐伯 昭紀（大阪大学）
13:40 ～ 14:20	近赤外光の低分子有機受光デバイス 市川 結（信州大学）
14:20 ～ 15:00	近赤外光を用いた車載環境認識センサ技術 曾我 峰樹（(株)豊田中央研究所）
	～休憩～
15:20 ～ 16:00	近赤外光を用いた静脈認証技術 長坂 晃朗（(株)日立製作所）
16:00 ～ 16:40	中赤外線領域にตอบสนองをもつ焦電型有機赤外線センサ 石田 謙司（神戸大学）
16:40 ～ 17:20	有機電界効果トランジスタの THz 波センサへの応用 中村 雅一（奈良先端大）

■ 参加費（テキスト代別）

区分	参加費
M&BE 分科会 会員	1,000 円
応物会員（一般） M&BE 賛助会員	3,000 円
一般	4,000 円
学生	1,000 円

本参加費は、M&BE 分科会会員の年会費と同額です。この機会にご入会頂ければ、分科会誌(年 4 回発行)や関連研究会の参加費減額などのサービスを受けることができますので、応用物理学会、M&BE

分科会への入会を是非ご検討ください。

参考：<http://www.jsap.or.jp/join/kojin.html>

■ テキスト代：1000 円

（M&BE 会員は分科会誌 No.3 を持参すれば無料）

■ 定員：70 名

■ 参加申し込み方法：

件名に「M&BE 新分野開拓研究会 2014 参加予約」と明記し、(1)参加者名、(2)所属・住所・TEL・e-mail、(3)参加区分：会員は会員番号記載(仮番号可)、(4)テキスト(M&BE分科会誌No.3)の要・不要を、e-mailにて下記までお申込下さい。

当日参加も受け付けますが、可能な限り事前予約して下さい。

事前予約申込先

森 朋彦（(株)豊田中央研究所）

e-mail: tomohiko@mosk.tytlabs.co.jp

■ 世話人：

森朋彦（(株)豊田中央研究所）

尾坂格（(独)理化学研究所）

中山泰生（千葉大学）